

# 令和3年度サテライト梨花の里アスピア事業報告書

## 1 運営方針について

地域密着型の特性を活かし、地域の福祉拠点としての役割を果たしていくため、看護体制の強化を図り、経管栄養者の受け入れを開始した。

新規では経管栄養者の入所はなかったが、入所中の方で摂食・嚥下障害により経管栄養へ移行となった方については、柔軟に対応することができ、住み慣れた場所で安心して生活を続けていただくことができた。

## 2 事業目標評価について

3 カ年目標の『感染症対策の強化』『災害を想定した業務継続の取り組み』『デジタル化による業務効率化』『科学的介護の推進』を推進した。

### (1) 生活援助係（介護）の評価

根拠に基づく介護を実践していくため、IoT 機器「眠りスキャン」から得られた睡眠データを基に、夜間不眠の改善に取り組んだ。

食事、排泄、身体・健康状態、日中の活動面から眠れない原因を探り、食事形態・夜間の排泄時間・ベッド環境・離床時間の見直しケアを行った。特に効果が見られた方は、1日の平均睡眠時間が2時間から7時間まで改善された。それに伴い、食事時の傾眠がなくなり、水分・食事摂取量が増加し体調が安定した。

また、引き続き入所者・職員の双方にとって、けがのない安全性の高いケアを目指すため、入所者の身体状態に合わせてリフトや福祉用具を活用したノーリフティングケアを実施した。介助中に無理な力がかからないことから、入所者をリラックスした状態で移乗することができ、けがや事故の防止に繋がった。

### (2) 生活援助係（医務）の評価

入所者の健康管理については、「早期対応をお願いしたい」「再発防止に努めてもらいたい」「施設での生活を続けさせてもらいたい」というご家族のニーズに対応していくため、カンファレンスを重ね、ご家族にケアに関する情報を共有するほか、介護職員と協働して健康状態の観察・把握に努めた。また、嘱託医師より、病気が進行した場合にみられる症状や体調の変化に応じた指示を事前に受けていたことで、早期に対応することができ入院に至らないケースもあった。

新型コロナウイルス感染症の対応については、山口県看護協会に出前講座を依頼し、クラスター発生予防のための具体的対策や施設で発生した際に求められる対応等、今後の実践に繋がる知識の習得に努めた。

また、平常から感染症対策強化に対する取り組みとして、防護服の着脱を重点的に指導したことにより、介護職員らの自主性が高まり、進んで着脱訓練を行うようになった。

### (3) 給食調理係の評価

噛みやすさや飲み込みやすさだけでなく、栄養面や美味しさにも配慮し、ミキサー食を段階的にサラサラ、ペースト、ゼリー状に分類し、口腔機能や状態の変化に合わせ、その人に適した食事の提供に努めた。

また、入所者が食べたい食事を選ぶことができるよう1か月に1度、選択食を継続し、1月からは新たにランキング食を実施した。職員と一緒に複数のメニューの中から選択し、決定するまでのやりとりを楽しむことができ、食への満足度を高めることができた。

### (4) 生活援助係（介護支援専門員）の評価

新型コロナウイルス感染症対策により面会ができない中、毎月担当者からご家族に近況報告を行い、日頃の様子をお伝えした。ご家族からは「変わりはないですか」「体調は崩していないですか」等、身体・健康面を心配される声が多く、今まで通りの生活を続けて欲しいというご家族の思いを聞くことができた。

ご家族の意向を踏まえ、身体・健康上の課題解決に向けたプランを作成し、施設生活が継続できるように努めた。

ご本人の要望については、その人が望まれる生活を重視して、入所者の立場に立ち、ご本人の意思と生活機能を最大に引き出せるようなプランの作成に努めた。

### (5) 生活援助係（機能訓練指導員）の評価

入所者個々の心身の状態に合わせ、自立した生活が送れるよう、本人の有する能力に応じた訓練を実施した結果、日常における動作の機能維持、状態悪化を防ぐことに繋がった。また、介護・看護職員と協働し、少人数グループで健康体操、音楽、運動等行うことで、年間延べ1,164名に実施することができた。

### (6) 生活相談員の評価

今年度の施設の利用状況は、退所5名、入所5名、入院11件であった。

利用率については、目標の98.6%に対し、利用実績は97.4%、目標を1.2ポイント下回る結果となった。理由として、1人あたりの平均入院日数が長かったこと、また空床期間に合わせてショートステイ利用者を獲得できなかったことが上げられる。一方で、介護報酬については、加算区分をランクアップ（日常生活継続支援加算Ⅱ、介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ）したことにより、昨年度の収入を上回り増収となった。

新規入所を迎える際は、入所後も入所前と近い生活が送れるよう、ご本人・ご家族の意向をかなえる橋渡し役となるよう努めた。

介護職員と連携を取り、入所前の情報を細かく伝え、情報共有することで、その人のニーズに合った適切なケア体制を確立することができた。穏やかに過ごされている様子をご家族に伝えると大変喜ばれた。

### (7) 総務係の評価

変異株の新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止を目的として、来館者との接触を極力避けるため、公益財団法人 JKA が実施する補助事業の支援を受け、「非接触体表面測定サーマルカメラ」を導入した。カメラを設置したことで、検温時の接触を減らすことができ、感染症対策が強化された。

また、昨年度に引き続き、入所者・ご家族の繋がりを支援するため、アクリル板越しの面会をお盆と年末年始に実施し、延べ 65 名のご家族にお越しいただいた。対面する相手の表情を見ながらお話しできたことで、ご家族には元気な様子が伝わり、入所者には笑顔があふれた。

### 全職員共通

#### (1) 労働環境の充実

業務の効率化を図るため、ICT 機器（記録ソフト「ほのぼの」）を 6 月より本稼働したことで、記録物を二重で管理することがなくなり、書類作成に掛かる時間を削減することができた。また、介護職員の要望を受け、IOT 機器「眠りスキャン」の情報を受け取るためのスマートフォン 1 台と、いつでもどこでも記録入力ができるようタブレット端末を 3 台追加した。

職場の課題や職員の満足度を把握するためのアンケート等を実施することにより、ハード・ソフトの両面において改善を図ることができた。

#### (2) 人材育成・技術の向上

認知症ケア（パーソン・センタード・ケア）についての理解を深めるために、昨年度に引き続き外部講師に依頼し、オンライン研修を実施した。

また、外部研修については（オンライン研修を含む）、専門性を強化するため、職種別で参加し知識やスキルの習得に努めた。

#### (3) 地域貢献活動

新型コロナウイルス感染症により、「Café よつ葉」を開催することができなかった。再開を見据えて全職員が認知症サポーター養成講座を受講し、認知症サポーターとなった。

### 3 職員の状況

#### 職員数と令和3年度中における異動

職種	区分	現員 (人) R3. 4. 1	令和3年度中における異動				現員 (人) R4. 4. 1
			退職者 (人)	採用者 (人)	異動出 (人)	異動入 (人)	
正職員	施設長	1					1
	事務職員	1					1
	生活相談員	1					1
	看護職員	(1) 2	1				(1) 1
	機能訓練指導員	(1)					(1)
	介護職員	(1) 13	1				(1) 12
	介護支援専門員	(4)					(4)
	調理員兼介護職員	2	1			1	2
常勤職員	看護職員	0		1		1	2
	介護職員	4				(1) 1	(1) 5
	栄養士	1					1
	調理員兼介護職員	2					2
	介護補助員	(1)					(1)
非常勤職員	看護職員	1			1		0
	介護職員	1					1
	調理員兼介護職員	1	1			1	1
	宿日直員	3					3
	嘱託医師	1					1
	合計	(8) 34	4	1	1	(1) 4	(9) 34

( ) の数字は他職種との兼務を示す

#### 4 入所者の状況

本入所の状況（令和4年3月31日現在）

地域別	男性(人)	女性(人)	計(人)	令和3年度の入退所者		
				入所(人)	退所(人)	差異(人)
豊北町	4	21	25	5	5	0
豊浦町	0	1	1	0	0	0
豊田町	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	3	0	0	0
合 計	4	25	29	5	5	0

年齢別	男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)	最高年齢 男 94歳 女 98歳 最少年齢 男 72歳 女 75歳 性別平均年齢 男 83.0歳 女 89.6歳 平均年齢 88.6歳
～70歳	0	0	0	0.0	
71～80歳	2	3	5	17.2	
81～90歳	1	9	10	34.5	
91～100歳	1	13	14	48.3	
101歳～	0	0	0	0.0	
合 計	4	25	29	100.0	

区 分		男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
食 事	自 立	3	13	16	51.7
	一部介助	1	2	3	13.8
	全面介助	1	9	10	34.5
排 泄	自 立	1	3	4	13.8
	一部介助	1	6	7	17.2
	全面介助	2	16	18	69.0
入 浴	一 般 浴	1	9	10	34.5
	リフト浴	3	4	7	24.1
	特 殊 浴	0	12	12	41.4

## 5 実績

特養（定員 29 名）

延べ人数（日数×人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	実績	870	899	867	887	899	867	846	829	862	848	726	816	10,216
	利用率	100.0	100.0	99.6	98.6	100.0	99.6	94.1	95.2	95.8	94.3	89.4	90.7	96.5
令和2年度	実績	820	885	860	887	869	833	899	859	892	857	784	855	10,300
	利用率	94.2	98.4	98.8	98.7	96.6	95.7	100.0	98.7	99.2	95.3	96.5	95.1	97.3

### 退所状況について

令和3年度における退所者は5名（男性1名、女性4名）であった。

退所者のうち、施設にて看取り介護を実施した方は4名、医療機関を希望された方が1名。

平均介護度は、3.7であった。

短期入所（空床利用型）

延べ人数（日数×人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	33	47	102
	利用率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	4.0	5.2	0.9
令和2年度	実績	42	10	4	12	21	31	0	0	0	6	0	2	128
	利用率	4.8	1.1	0.5	1.3	2.3	3.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.2	1.2

### 利用状況について

令和3年度におけるショートステイ利用件数は6件（全て新規利用者）。

要支援1 1件（延べ11日）県外へ行った同居家族との接触を避けるため。

要介護1 2件（延べ28日）家の一部を改修するため。お試し利用のため。

要介護2 2件（延べ50日）施設が決まるまで。

要介護4 1件（延べ7日）急に介護を必要とする状態になったため。

## 6 研修の状況

研 修 名	日 付	施 設 長	事 務 職 員	生 活 相 談 員	看 護 職 員	介 護 職 員	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員	栄 養 士	調 理 員 兼 介 護 職 員
新型コロナウイルス感染症クラスター対策研修会（ライブ配信）	5/12		1	1	2	2				
入所施設における新型コロナウイルス感染症対応研修	5/20				1					
令和3年度社会福祉施設長資格認定講習過程（オンライン）	6/1～1/31	1								
令和3年度福祉施設給食担当職員研修	6/2									1
令和3年度職場のメンタルヘルスマネジメント研修	6/7					1				
介護支援専門員更新研修 7/13, 7/21, 8/3, 8/21, 9/3	—						2			
新型コロナウイルス感染防止対策とリスク管理のポイント（Webセミナー）	7/16				1					
令和3年度老人福祉施設レクリエーション研修	7/19							1		
第1回介護事業者支援 Web セミナー 介護事業所におけるBCP策定のポイント	7/20			1						
第39回中国地区老人福祉施設長研修会（Webセミナー）	7/21	1								
令和3年度福祉・介護事業所における「介護助手」普及推進セミナー（オンライン）	8/6		1	1	1	4				
第1回介護事業者支援セミナー 『新たな算定要件の完全解説とLIFEの導入と活用法』『業務継続計画（BCP）の義務化対策と6月からの実地指導に備える』（Webセミナー）	8/10			1						
接遇講習会（オンライン）	8/10 8/24					2				
第2回介護事業者支援セミナー 事業継続計画（BCP）	8/19			1						



## 7 その他

### (1) 年間の主な会議の実施結果

会議名	内容	開催日	出席者
運営会議	施設全体の方向性の確認 行事の確認等	毎月 (梨花の里合同)	施設長、生活課長、生活援助係長 生活相談員
職員会議	事務連絡	4, 6, 7, 3月	全職員
施設内研修	各種研修会	4, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 3月	全職員
運営推進会議	活動報告、意見交換	未開催	
リーダー会議	各部署の課題の協議 施設行事の確認	毎月	施設長、生活課長、生活援助係長 リーダー以上、各部署代表
サービス担当者会議	各職種が集まりサービス内容 を検討し、入所者のケア プランを決定する	年2回/1入所者	介護支援専門員、ユニット職員 各職種代表
入所検討委員会	入所待機者名簿を作成する	6, 9, 12, 3月	施設長、介護支援専門員 介護福祉士、生活相談員 看護職員、第三者委員
苦情解決委員会	苦情に関する事例報告	3月	第三者委員 理事長、施設長、生活課長 法人内の各施設の生活相談員
研修委員会	職員の気づきを踏まえた勤 務環境やケア内容の改善	4, 7, 10, 1月	リーダー以外の職員
ユニット会議	入所者の状況確認 ケア内容の決定 課題抽出	光ユニット 11回 風ユニット 13回 虹ユニット 12回	各ユニット職員
給食調理係会議	業務の改善、行事食等の確 認	12回	生活課長、生活援助係長、調理員
処遇に関する委員会	褥瘡対策チーム	4, 6, 8, 10, 12, 2月	生活課長、生活援助係長 各ユニット、介護職員 各部署代表
	感染症対策委員会※	4, 6, 8, 10, 12, 2月	
	身体拘束等防止・監視委員 会	5, 7, 11, 3月	
	口腔内のたんの吸引等安全 対策委員会	5, 7, 11, 3月	
	見守り機器を安全かつ有効 に活用するための委員会	5, 7, 11, 3月	生活課長、生活援助係長 リーダー以上、各部署代表
	事故発生防止委員会	6, 9, 12, 3月	
	食事内容の検討会議	4, 7, 11, 1月	
	質の評価検討会議	5, 10, 2月	
相談員会議	各施設の連絡、確認	9月	法人内の各施設の生活相談員
栄養士会議	各施設の連絡、確認	11月	法人内の各施設の栄養士等

#### ※感染症対策委員会事業評価について

新型コロナウイルス感染症予防対策として、昨年度に引き続き、基本的な感染対策、入所者の健康観察、面会制限及び感染症想定訓練等を継続して実施した。

委員会では、各ユニットにおける感染症対策の実施状況の確認や、その他の感染症に対する演習を実施したことで、正しい知識と技術の習得に努めた。

また、日頃から手洗いを適切なタイミングで正しく行っていくことにより、施設内における感染症を防ぐことに繋がった。

(2) 年間行事実施結果

月	行 事	関連行事等
4	お花見 お花見会	
5	お楽しみ Day (パンケーキ) 春の外出 (ほうせんぐり)	職員検診 (夜勤者のみ)
6	花と緑の日 お楽しみ Day (いぎの葉団子) 映画観賞会	新型コロナワクチン予防接種 (1回目) 入所検討委員会
7	七夕会 お楽しみ Day (七夕ゼリー) 映画観賞会	新型コロナワクチン予防接種 (2回目) 消火避難訓練 (日中想定) 害虫駆除
8	盆法要 入所者・職員懇談会 (各ユニット) 夕涼み会	アクリル板越し面会
9	レクリエーション お楽しみ Day (アイスクリームパフェ) 敬老会	入所検討委員会
10	運動会 芋ほり 秋祭り	入所者結核検診 参議院山口県選挙区選出議員補欠選挙 衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査 不在者投票
11	文化祭 焼き芋 入所者・職員懇談会 (全体) お楽しみ Day (のり巻き)	消火避難訓練 (夜間想定) 職員検診 (全職員) インフルエンザ予防接種
12	クリスマスバイキング クリスマス会 もちつき	入所検討委員会 アクリル板越し面会 害虫駆除
1	元旦行事 初詣 鏡開き	山口県知事選挙不在者投票 新型コロナワクチン予防接種 (3回目)
2	節分会 入所者・職員懇談会 (各ユニット) お楽しみ Day (たい焼き)	
3	お楽しみ Day (関東風桜もち) ひな祭り お茶会 彼岸法要	地震災害想定避難訓練 入所検討委員会 苦情解決委員会
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お念仏の会 ・喫茶 (第2火曜日) ・誕生日会 (第4火曜日) ・選択食 (第3金曜日)</li> <li>・外出支援 (ドライブ) ・美容の日 (第2月曜日)</li> </ul>	

(3) 給食の状況

区 分		エネルギー (Kcal)	材料費 (給食1日単価)	
1日当たりの 平均栄養量 及び給食単価	令和3年度実績	1,359 kcal	経口	746 円
		1,000 kcal	経管	1,025 円
	令和2年度実績	1,364 kcal	経口	795 円
		— kcal	経管	— 円

(4) 主な帳簿

種 別	記 録 事 項
介護日誌	介護に関わる記録
施設サービス計画書	入所者一人ひとりのケア計画
個人ケース	入所者の日々の記録
看護日誌	看護に関わる記録
機能訓練日誌	機能訓練に関わる記録
出勤簿	出勤時、押印するもの
出張命令簿	出張の際管理者に届け出るもの
新型コロナに係る体温・体調記録簿	午前の検温、勤務時の体調把握